

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム あげ道作成日: 令和元年8月9日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向け取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所と地域とのつきあい	近隣小学校、保育所との交流や、法人で開催されるサロンには参加しているが、地域の行事や活動に利用者が出かけて行く形での日常的な交流までには至っていないため、今後の課題として取り組んでいく。	運営推進会議を通して情報を収集し、地域住民やボランティア、家族の協力を得て、地域の行事や活動に積極的に参加していくことで、地域の一員として交流を広げていく。	12ヶ月
2		レクリエーションの充実	外出レクリエーションは充実しているが、屋内で行う、日々のレクリエーションの充実を図り、活気ある雰囲気の中で利用者の笑顔を引き出していく。	レクリエーションの得意、不得意の職員が協力し合い、利用者が興味を持って参加できるレクリエーションに取り組み、利用者の笑顔に繋げていく。	12ヶ月
3		グループホーム独自のホーム便りの作成	「あげ道」独自のホーム便りを作成し、利用者の暮らしぶりやホームの状況をより詳しく家族に伝えることで、家族との信頼関係を築いていく。	現在、ホーム屋内の壁に一言添えた行事の写真を掲示しているが、そのような内容でホーム便りを発行し、日々の暮らしぶり、食事のメニュー、職員の紹介等、内容を工夫しながら発信していくことで、家族の安心に繋げていく。	12ヶ月
					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。